

議会だより

あやがわ



もちつき大会(昭和認定こども園 12/9・陶保育所 12/10)

定例会のあらまし 2P

4委員会・協議会報告 3~7P

(固定資産税の過大徴収についてなど)

一般質問に竹林対策と介護保険などで7人が質問 8~11P

決算審査特別委員会報告 12~13P

「町議会を見学して」(羽床小学校生徒による傍聴記) 14P

2016

NO. **39**

平成28年1月22日

新年のごあいさつ



綾川町議会議長

鈴木 義明

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様方におかれましては、希望に満ちた平成28年の新春を、晴れやかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より町政に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年は、合併10周年を迎える節目の年であります。この10年間を見ましても、社会情勢をはじめ、綾川町も大きく変貌してきております。

しかし、人口減少による様々な課題に直面し、今まさにまちづくりのあり方そのものが大きく問われております。町の将来を見据えた人口減少の克服と地方創生への取り組みを、執行部と互いに知恵を出し合いながら町政運営に取り組まなければならないと考えております。

新年を迎え、町議会といたしまして、議員一同、綾川町民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、綾川町を「いきいきと笑顔あふれる定住の町」さらに、住んでよかったと言える町づくりのため全力を尽くしてまいります所存でございます。なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様方にとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

綾川町議会

議長	鈴木 義明
副議長	田辺 健次
議員	宮本 勝利
議員	安藤 利光
議員	石井 和義
議員	野中 邦夫
議員	碓石 眞己
議員	河野 雅廣
議員	横井 薫
議員	福家利智子
議員	福家 功
議員	川崎 泰史
議員	井上 博道
議員	岡田 芳正
議員	三好 重徳
議員	大野 直樹



12月定例本会議（12月15日）

12月定例会

放置竹林整備推進事業に

658万5000円

12月定例会は12月15日から18日までの会期として開催した。

本会議初日は、「綾川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定」、「綾川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正」について等、議案16件、諮問1件、報告1件の説明後、7議員による一般質問があった。また、10月に開催した決算審査特別委員会の審査内容について、委員長報告、採決の結果、「平成26年度一般会計及び特別会計

の決算認定」については、原案どおり可決した。そして、提案された各議案を関係常任委員会に付託し散会した。

16日から17日まで各常任委員会を開催し、付託された議案を慎重審議した。また、17日には、学校等再編整備調査特別委員会も開催された。

18日に本会議を再開し、常任委員会・特別委員会での審議内容について各委員長による報告、採決を行い、全ての議案16件、発議「早急にヘイトスピーチ対策を求める意見書」を、いずれも原案どおり可決し、定例会を閉会した。

今回の傍聴は、羽床小学校の生徒8名を含む17名であった。

補正予算

一般会計

歳入歳出予算の総額を95億1880万円に、歳入歳出それぞれ1億9260万円を増額し、総額を97億1140万円とした。

歳入の主なものは、地方交付税、国庫支出金、県支出金の増額、繰入金の減額。

歳出の主なものは、人事異動に伴う人件費等の補正、税務管理費における償還金利子及び割引料の増額、国民健康保険特別会計繰出金の増額、保健事業費の委託料の増額、農業振興施設整備補助金で負担金補助及び交付金の増額、道の駅滝宮施設管理事業費で公有財産購入費の増額。

特別会計

●国民健康保険

保険給付費等の増額により、総額を36億5746万1000円。

●国民健康保険診療所

一般管理費、財政調整

全会一致で意見書を可決

ヘイトスピーチ対策に関する意見書（抜粋）

近年、国内では特定の国籍の外国人や人種、民族を排斥する差別的言動、いわゆるヘイトスピーチが行われており、大きな社会問題となっている。2013年10月から昨年にかけて特定の国籍・民族の外国人に対する発言に関係する裁判が京都地方裁判所及び大阪高等裁判所にて行われていたが、最高裁判所は2014年12月9日付でその違法性を認める決定を行った。

本町においては、基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念の基に「綾川町人権擁護条例」を制定し、あらゆる差別をなくするため、人権擁護の意識の高揚を図り、差別のない明るい人権尊重の町・綾川町を推し進めており、差別的言動であるヘイトスピーチは決して許されるものではないと認識している。

国においては、表現の自由に配慮しながらも、ヘイトスピーチに関して早急な対策を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月18日

香川県綾川町議会
提出先…衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・総務大臣・法務大臣・国家公安委員長

0万円。

●下水道事業

下水道施設整備費の減額により、総額を4億6981万5000円。

●陶病院事業

建設改良費の増額により、総額を1億9481万4000円。

●介護老人保健施設

施設運営事業費用の増額により、総額を3億7684万1000円。

●水道事業

水道事業費用の増額により、総額を5億9311万3000円。

人権擁護委員の推薦同意

任期（平成28年4月1日）満了に伴い、委員の推薦に同意した。

真鍋 由美子氏（52歳）

再任

綾川町羽床下1754番地1



総務委員会 12/16

綾川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

固定資産税の過大徴収に係る問題で、町長、副町長の責任を明確にするために、給料額の10分の1を2ヶ月間減額するための条例改正である。公布の日から施行し、平成28年1月1日から適用する。

綾川町税条例の一部を改正する条例の一部改正

本条例改正は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、地方税法施行規則等の一部を改正する省令が平成27年9月30日に公布されたことに伴う条例改正であり、公布の日から施行する。

綾川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

番号法に基づく特定個人情報等の定義や提供範囲、庁内各部署の内部連携における個人番号の利用範囲を定めるもので、平成28年1月1日から施行する。

問 個人カードを所持していない住民は行政上の手続は可能なのか。今までどおり手続できるか。

答 個人カードの作成は自由で、通知カードがあれば従前のとおり手続できる。

綾川町少年育成センター条例の一部改正

綾南中学校の完成に伴い、少年育成センターの位置を綾川町陶5593番地1内に変更する。施行日は、新学期の開始日である平成28年1月8日からとする。

工事請負変更契約の締結

平成27年度綾川町総合運動公園陸上競技場改修工事について、工事内容に変更が生じたため、平成27年12月4日に長谷川体育施設株式会社四国営業所と消費税込み164万3800円の増額変更で仮契約を締結し、変更後1億6527万78



総合運動公園陸上競技場

00円となった。主な変更内容は、3000m障害助走路を、当初の芝生による施工から全天候舗装に変更し、全天候舗装の表面にトップコートを施工して耐候性を向上させる。

問 工事の進捗状況と保証期間はどうか。

答 既存の合成ゴムシートのほぎ取りと切削作業を年内に完了し、来年1月10日頃から合成ゴムシートを敷設する予定。進捗状況は、ほぼ予定どおり。保証期間は、工事請負契約約款で2年である。

平成27年度綾川町一般会計補正予算

総務課関係

選挙管理委員会費では、選挙制度改革による増額補正、災害対策管理費では、不発弾の調査費確定に伴う減額補正。

税務課関係

税務管理費では、固定資産税の過大徴収に伴う還付金として2873万3000円と、還付加算金として389万円の増額補正で、固定資産税において住宅特例の課税誤りの確認できる平成18年度から平成26年度までの返還分。

教育委員会関係

運動公園施設整備費では、委託料と工事請負費の組替補正。

意見 固定資産税の過大徴収の問題で電算入力処理での複数チェックを心がけ、間違いないように。

答 課税誤りがないように、複数の目でチェックをし、適正な課税に努めたい。

瀬戸・高松広域連携中核都市圏の形成に関する連携協約の締結

瀬戸・高松広域連携中核都市圏の形成に関する目的、基本方針、取り組

み内容及び役割分担等を決めて、定住自立圏から発展的に進める。今後、詳細については関係市町と協議する。

●綾南中学校改築事業において、11月30日に県建築指導課による完了検査を、12月14日に町の竣工検査を実施した。

瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定の廃止

瀬戸・高松広域連携中核都市圏の形成に関する連携協約の締結に基づき、本協定を廃止するもので、条例廃止については3月議会で上程する。



綾南中学校改築事業落成式 12月23日

総務委員協議会

12/3

綾川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

問 本条例は、福祉・保健・医療・地方税全般にわたっての個人番号の利用に関する条例制定か。

答 特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に定められた事項について、マイナンバーの活用が厳格に定められている中で、法律で規定されていない各自治体の独自利用事務について、適正な利用及び取扱いを確保するために情報連携の規程を盛り込んだ条例である。

固定資産税等の過大徴収

平成26年度中に判明して還付した人数、還付金額を含めて、固定資産税に係る還付実人数は577人、還付金額は還付加算金を

含め4214万3400円である。また、国民健康保険税については、還付実人数が273人、還付額89万4100円で、還付総額は4303万7500円である。12月2日に、還付予定者に対し文書により謝罪と還付資料を送付した。今後、12月定例会に還付金に係る補正を上程し、議決後、速やかに還付手続きを取りたい。

問 この度の過大徴収問題について、課税の誤りは許されるものではないが、その後のプレス発表を含めて適切な対応であったと思う。また、合併前からの課税誤りもあると聞いているが、合併時にそういった調整はなされなかったのか。

答 3年に1度の評価替え作業があるが、合併時、両町において特別にその様な調査は行っていない。この度の課税誤りの発見に至ったのは、27年度からの評価替えのために、路線価方式を一部地域において新規導入しての調査段階で発見したもので、

過去の課税状況のデータも確認した結果、そのような事実が判明した。

厚生委員会 12/16

綾川町手数料徴収条例の一部改正

平成28年1月1日以降に交付される個人番号カード



個人番号通知カード【おもて面】



個人番号カード【おもて面】

1ドの再交付にかかる手数料を800円と定める。

平成27年度一般会計補正予算

歳出の主なものとして、がん検診委託料（1200万円）、予防接種委託料（500万円）の増額補正。

平成27年度国民健康保険特別会計補正予算

2億1746万1000円の増額補正。歳出の主なものとして、一般被保険者の療養給付費（1億8038万1000円）、高額療養費（4000万円）の増額。歳入の主なものとして、国庫支出金、県支出金等が1億1811万8000円、一般会計繰入金が1億123万3000円の増額。

問 これからは若年層に向け、学校での「がん教育」が必要ではないか。

答 生活習慣病も含め、教育委員会と連携して取り組むことを検討する。

平成27年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算

2814万9000円の増額補正。歳入の主なものとして、繰越金（2793万2000円）、歳出の主なものとして、基金積立金（2812万4000円）の増額。

平成27年度国民健康保険陶病院事業会計補正予算

心臓カテーテル用検査装置の購入費（1080万円）を増額補正。

平成27年度綾川町介護老人保健施設事業会計補正予算

職員給与費（1022万7000円）を増額補正。人員不足により、新規に職員を採用したためである。

バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業概要

町内の企業において、家庭の可燃ごみ等を原料にして、微生物の力を借りてメタンガスを発生さ

せ発電等をしようとするもので、発電機等の導入を検討している。

麻田総合病院の診療報酬不正請求事案

経営母体の医療法人財団エム・アイ・ユーの破産手続きが終了し、返還請求額約43万円が回収不能となった。

陶病院の上半期業務状況

昨年度と比べて入院延べ患者数は23%の減少、外来延べ患者数は31%の増加になった。外来患者数の増加は、小児科や内科の患者数が増えたことが要因である。

問 医師の確保について、どういう状況か。

答 今年度、2名の医師が退職し、1名が退職予定である。

介護老人保健施設あやがわの上半期業務状況

昨年度と比べて入所者、通所者ともに減少している。

臨時給付金の申請状況

11月末現在で、臨時福祉給付金は75・3%、子育て世帯臨時特例給付金は98・9%。

問 臨時福祉給付金の申請率が低いのはどうしてか。

答 子育て世帯臨時特例給付金は児童手当の申請書と兼用になっている。一方、臨時福祉給付金は単独の申請になっているのが原因と考えている。

保育士の採用

問 保育所で保育士資格のない人を採用してよいという報道があったが、どのように考えているのか。
答 保育士資格等のある人を採用する。

保育所における若い保育士の提案

問 若い保育士が自分の意見を提案しにくい状況があるのではないか。

答 研修方法を工夫したり、意見を提案しやすい職場環境を整えるように指導する。

国民健康保険人間ドック
事業補助要綱の改正

人間ドックの受診に要する個人負担額を8000円から1万円に改正する。また婦人科検診を追加した場合の個人負担額を9000円から1万1000円に改正する。

療養給付の状況

後期高齢者について、平成20年度～26年度にかけ、医療費で20%、高額

療養費で65%強の増加になっている。

一般についても、本年度上半期の療養給付費が約10%増加しており、香川県平均の2%強を大きく上回っている。

問 医療費が上昇する中、対策については。

答 後発医薬品の普及を促すよう周知に努める。また若年層に対しても、生活習慣病予防の推進に努める。

地域介護予防推進事業

「ほっとか連

とこ100歳体操」は、県の推進事業において本町がモデル事業として取り組むものである。また、認知症予防等の一環として「脳の元気体操」を平成28年2月まで、毎週木曜日に「えがお」で開催している。



ほっとか連とこ100歳体操

綾川町一般会計補正予算

問 道の駅「滝宮」などの公共施設の用地買収における町の考え方は。

答 今回の反省点として、最初に全ての施設用地を買収するなどして、問題を解決してから事業を進める。

問 放置竹林整備推進事業は何処でどのような事業を行うのか。

答 竹林を伐採、チップ化し、場所によっては、クスギなど広葉樹等の植栽から保育までを補助する事業で、西部森林組合から推薦を受けた3地区。

下水道事業特別会計補正予算

一般管理費及び施設整備費の件費については、在職者調整と4月の人事異動による補正。国の追加割当に伴う工事請負費の増額補正。



滝宮45工区下水管敷設工事箇所予定地

月から11月までの入場者、売上高概算実績表及び損益計算書に基づき詳細な説明があった。

問 コンサルを入れて経営改善に努めているが、赤字が増え続ける状態が危ぶまれるのではないか。

答 集客を増やす方策、うどん店のセルフ化や産直のリニューアル等も含めて、一企業としての運営の確立を目指す。

水道事業会計補正予算

問 原水及び浄水施設整備費の増額補正の詳細は。

答 綾南浄水場ろ過池改修・沈澱池耐震工事のクラック箇所増や塗装。羽床中継ポンプ場送水管敷設工事の管種変更。綾南浄水場の場外監視設備更新工事は増額補正。

「株式会社綾南プラザ」の経営状況報告

平成27年度第19期の4

する場を求める。

答 香川県広域水道事業体設立準備協議会の資料が整い次第、早急にする。

委員会付託

請願第1号「T P P交渉（大筋合意）は撤回し、調印・批准をしないことを政府に求める意見書採択のための請願書」は、継続審査とする。

建設経済委員会協議会 12/3

綾川町鳥獣被害対策実施隊設置要綱

問 実施部隊は綾歌地区猟友会が当たるものと思うが、構成員の範囲及び人数、わな猟を行う狩猟者の人数は。

答 現在、猟友会会長との協議の中では44名の者を任命する予定である。

土地改良事業補助規程の改正

問 農道舗装は改良にはあたらないが、舗装幅2.0mは幅員2.5mと考えてよいのか。

答 舗装については、路肩部分を除き、舗装幅が2.0m取れば補助対象とするが、舗装による経済効果等を考慮し現地の実情等を加味して判断したい。

綾川町生活排水処理施設整備計画（案）

問 農業集落排水事業について、2地区を計画廃止とする計画案について、意見書を提出した地元への対応は。

答 「当該地区の合併処理浄化槽による事業推進のお願い」に訪問した。

学校等再編整備調査特別委員会 12/17

今後の委員会の在り方は、議会運営委員会を検討していくことになった。

議会活性化協議会

第15回 11/19

11月13日の全員協議会に出された意見及び、基本条例素案に関する意見等について、質疑・検討を行った。

第16回 12/18

12月4日の全員協議会で出された意見及び協議結果に基づいて、議会モニター制度、一問一答方式、予算審議の在り方等について質疑・検討を行った。



議会活性化協議会 11月19日

**行政視察
研修報告
厚生委員会
11/16**

幼児期から小中学校までの発達障害児への支援、小中一貫教育の取り組み
京都府宇治市

宇治市の幼稚園では、特別な支援を必要とする児童に対応するため、各園に1名（非担任）の特別支援教育コーディネーターを配置し、計画的・組織的な支援体制を構築している。また長期的に支援できるよう、幼・小・中一貫した支援にも取り組んでいる。

小中一貫教育への道のり

小中一貫ありきではなく、統廃合を含む学校再編を検討する過程で取り掛かった。子どもたちの発達の加速化、中1ギャップなどを踏まえ、必ず

しも「6・3制」にとられず、義務教育9年間の中で取り組みが可能な手段として取り上げられた。小中連携から始まり小中一貫教育へ、さらには平成24年4月、小中一貫校である「宇治黄檗学園」を開校した。

**小学校、中学校の教職員
員の交流・連携**

小・中学校の合同研究会や合同授業研究会などを実施し、情報交換の場を設け、互いの教育内容の共通理解や指導力の向上を図る。中学校の先生が小学校の指導計画・英語教育に関わったり、小学校の先生が中学生の振り返り学習を支援することもある。

**保育所の児童、小学生、
中学生の交流活動**

交流行事を計画的・継続的に実施し、児童・生徒の自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係を結ぶ力の育成を図る。例えば、小学校の運動



行政視察の風景（京都府宇治市において）

会で中学校の吹奏楽部の生徒が演奏したり、小学生が部活動を体験したり、児童の小学校給食半日体験、小学校6年生の中学校体験入学、小学校・中学校合同の挨拶運動等、さまざまな交流を行っている。



今後、行政組織の再編・整備に取り組む綾川町役場



福家利智子 議員

Q 子どものインフルエンザ

予防接種に公費助成を

A 今後検討する

問 冬の訪れとともに、インフルエンザの流行が予想される。
子どもの健やかな成長を願うと共に、インフルエンザ受診を少なくする必要があります。また、子育

て支援の一環として、受診時は医療費本人負担の軽減が必要である。
そのためにインフルエンザ予防接種の負担について、現在助成されている65歳以上の高齢者と同

様に子どもたちの接種も公費助成を検討すべきでないか。
町長 重要な施策とは思われるが、公費による助成は、継続的な経費の負担となるので、今後検討していく。



子どもの予防接種風景

Q 放置できない竹林対策について

A 協働した取り組みを推進する

問 竹林を有する農家も高齢化と後継者不在により、管理が放置され、竹林増に拍車がかかっている。
綾川町の環境対策、災害防止対策として竹林の保全対策は。

町長 里山の環境を守っていく中で、竹を資源として活用する為の先進地調査や研究も行い、地域や町民、ボランティア等のご協力をいただき、協働した取り組みを推進し、里山再生へ努力する。



三好 重徳 議員

Q 抜本的な行政組織の再編・整備を

A 子育て支援課（仮称）の創設をはじめ、行政組織の再編・整備に取り組む

問 綾川町誕生から10年。時代は大きく変わっている。社会構造や住民ニーズの変化、地方分権をはじめとする制度改革…。各種施策や住民サービスは、市町村によって取り組み

に違いが生じている。本町も地方分権時代に合った行政組織の再編・整備が必要ではないか。
子育て支援課（仮称）の創設をはじめ、課の統合を含む行政組織の再編・整備を早急に進めて

いただきたい。
また、住民サービスの向上を目指し、人材育成についても見直しを行い、住民が気持ちよく来庁できるように取り組んでいきたい。

町長 質問のとおり、本町の行政組織の現状は十分な取り組みができていない。
今後は事業・事務の全般にわたり抜本的な見直しを行う。
まずは子育て支援課

（仮称）の創設、上水道及び下水道事業における課の統廃合等について検討を進める。他の事業についても内容を精査した上、行政組織の再編・整備を行い、組織の中で横の連携が十分に取得する体制の構築も図る。
人材育成については職員の意識改革、能力の向上を図る。住民にとって親しみやすく、適切な応対ができる職員の育成に努める。



安藤 利光 議員

問 県内の水道事業の広域化、11月に第2回香川県広域水道事業体設立協議会が開かれた。県は3年後、運営母体となる企業団設立へと進める計画である。広域水道事業は、香川用水を全量活用する

こと、各市町が持っている自己水源の廃止が前提である。町の廃止・休止予定水源は永富池、羽床第1・3水源の4施設が対象である。町内の自己水源年間配水量は311万トン。その内、廃止・休

Q 豊富な水源を廃止しないように
A 安心安全な水道水が供給できるよう協議

止予定の4施設で108万トンと3分の1の配水量を保っている。香川用水だけに頼るのは、渴水のことを考えても逆行しているがどのよう

町長 当初、広域化計画で廃止・休止の水源についても施設整備計画等の内容が検討されている。また、企業団の整備計画に基づく財政、経営方針がまとまりつつあるので、町独自の試算による財政、経営方針を議会に示していく。安定した水量、水質を維持してきた本町の自己水源を有効活用し、安心安全の水道水が供給できる方策を議会と協議し決めていきたい。



豊富な水源を保つ永富池

Q イノシシ等の被害対策は
A 鳥獣被害対策実施隊を設置
問 イノシシ等の発生による被害が年々激しくなり、農作物への被害も深刻である。野生鳥獣の捕獲頭数を増やすように。
町長 綾川町鳥獣被害対策実施隊を設置し、より組織化された捕獲体制により捕獲数の増加を図りたい。



資源として活用すべき里山の竹



井上 博道 議員

問 本町は竹の繁殖が著しく、里山の景観が損われている。竹の資源としての有効活用が大事である。竹の利活用を総合的に研究・推進する施設建設によ

町長 安定した竹の供給と、生産コストを抑えて事業化に結びつける検討をする必要がある。どの

Q 竹対策と町おこしについての考えを問う
A 企業や関係機関等と共に、調査・研究をしたい

ような活用に取り組むのか等、方針を決めることが重要である。今後、企業や関係機関等と共に、調査・研究をしたい。

Q 介護施設待機者問題改善についての考えを問う
A 今後、多様なサービスの提供を推進する
問 介護施設入所を希望しても、なかなか入れずに待ち続けなければならない。国も地方公共団体も、社会保障制度の根本的解決に迫られている。喫緊の課題である介護施設待機者問題改善につい

ての本町の基本的な考えを問う。
町長 本町では、地域包括支援センターにおいて介護施設利用相談を受けており、近隣施設の紹介等をしている。在宅介護サービスの充実を図ることが重要と考えている。今後、多様なサービスの提供、見守りほつと歓事業の体制の整備等を促進する。



大野直樹 議員

Q ユニバーサルデザインを取り入れた町づくりと教育についての考えを問う

A 関係各課が協議し、的確に対応できるように準備をする

問 4月1日より障害者差別解消法が施行される。この法律により、学校現場の環境は大きく変化すると予測する。「みんな同じ」から「みんな違っていい」、「同じものを使う」という平等から

「違って当たり前」という考え方に転換していかなければならない。本町では、どの課が所管するのか。また教育現場においてどのように対応するのか。

必要となる要領を策定し、総務課、健康福祉課等を中心として関係各課が協議し、職員の研修も含め的確に対応できるよう準備をする。

問 ①B&Gにフットサルコートを設置できない

か。
②陸上競技場の公式競技回数はどのくらいか。
③芝生部分を使ったサッカーの試合等に利用できないか。
④多目的グラウンドでも、夜間照明の設置を望む。

について研究を行いたい。
④夜間照明の整備については、維持管理の費用などを勘案して検討する。

フットサルコート



岡田 芳正 議員

Q 介護保険料の支払い額を問う

A 積極的な介護予防事業などの実施を行う

問 現在、65歳以上の高齢者が支払う介護保険料が、綾川町が県内で最も高い6300円となっている。

が、介護保険料をどのようにかえるのか。65歳以上の高齢者の一部月額負担の考えはあるのか。

保険料の一部月額負担は、困難であるため、積極的な介護予防事業などで、給付費の抑制を図る。

町長 介護保険事業運営は、危機的状況にあり、やむを得ず介護保険料を改定した。町として介護



いきいきサロン

Q 認知症初期集中支援チーム設置の取り組みを問う

A 医師会等の関係機関と協議の上、検討する

問 政府は、2018年4月までに全自治体に認知症初期集中支援チームを設置する方針を示している。

町は、認知症でも大丈夫なまち、認知症ケ

アパス、地域包括支援センターを設置しているが、認知症初期集中支援チームの設置をどう考えるのか。

町長 認知症初期集中支援チームは、医師、保健師、看護師、作業療法士、社会福祉士等の資格を有する人材確保が不可欠で、医師会等の関係機関と充分協議の上、設置を検討する。

いっぱん質問

ほかにもこんな質問がありました

地域経済の活性化

問 地域経済の発展をリードする商工会の大幅な強化と、町の協力が必要である。

答 今年度発行したプレミアム商品券等の発行はどうするの。

答 総合戦略を進めるためには、商工会をはじめ企業、住民の方々にも、



川崎 泰史 議員

Q 農政としての箱わなへの

政策的転換及び資源活用は

A くくりわなとの併用

資源活用は検討要請していく

問 狩猟期と農繁期との乖離があり、狩猟と農業政策との区別が必要である。また、ジビエとしての利用には箱わなによる生体捕獲が重要である。従来型から箱わな等へ、

町長 政策的転換を行わないのか。処理施設の建設費用および運営費用はどの程度か。県に対して処理施設設置要請は。候補地として名乗り上げは。活用には品質の確

保と肉の安定供給等、課題がある。採算ベースには年500〜600頭の捕獲が必要である。現時点では、くくりわなと箱わなを併用していく。施設は70〜100㎡程度の



イノシシ

建物で約20000万円、設備約1000万円他。町単独での設置は難しいので、県主体の広域的な取り組みとして要請したい。設置候補地の名乗り

は、慎重な検討が必要である。

Q 町としての子供一貫教育プランの確立を

A 「一貫」の視点を共有し、活性化が重要

問 中1ギャップ解消に向けた交流、情報交換を主体とした小中一貫教育の進展ならば、即時に対応が可能で、「綾川町幼児教育共通プラン」とも

共通する。つまりは社会経験として必要だが、フォローも重要である。成人までの責任として、学校教育という視点にとどまらず、統一した考え方による子供一貫教育プランを確立しないか。

教育長 「綾川町一貫性教育研究会」があり、その基本理念と重なる。

「一貫」というソフトウェアの視点を共有し、活性化させていくことが重要である。

協力が必要。プレミアム付き商品券は経済的効果等を検証し方向性をも見極め、検討していく。

保育料を軽減しては

問 善通寺市では幼稚園の授業料は無料に、保育料は子ども1人に対して4500円一律減額しており、若い人からは、安心して子育てが出来ると思

ばれている。町も善通寺



昭和認定こども園での様子

答 市のように、保育料の軽減を。現在、まち・ひと・

しごと総合戦略で取り組み、各課で連携して精査している。

雇用促進住宅の取得は

問 町外からの子育て世帯の入居を図る上で、若い人に住居を安く貸し出しをするために、雇用促進住宅を来年度取得する方向で検討していると聞

くが、その後どうなのか。

答 雇用促進住宅は、平成33年度までに譲渡され事業廃止することが決定

されている。現在、平成28年度に取得する方向で独立行政法人「高齢・障害・求職者雇用支援機構」と協議している。今後、5カ年計画や新年度予算編成の中で検討したい。

中学校の英語・数学の授業を習熟度別学習指導に

問 学力の二極化が顕著になっている。授業が分らない生徒が増えるとともに、上位層を中心に

私立中学を選択する生徒が増える可能性がある。

答 その対応策として、中学校の英語・数学について、習熟度別の授業を行うことはどうか。

答 習熟度別学習指導は、非常に有効である。

しかし、本町では人員確保等ができないため実施は難しい。現在の取り組みを地道に継続することが現実的な対応である。

び企業会計の決算を審査・認定

財政調整基金に7億円を積み立て

平成26年度の決算審査を行う決算審査特別委員会（委員長 野中邦夫 他6名）は、10月29日、11月4日、6日の3日間開会し、慎重に審議した結果、一般会計及び特別会計、企業会計の決算をいずれも認定した。

その内7億円を財政調

整基金に積み立て、残金の内6683万2649円を翌年度に繰り越した。

総務関係

問 自治会への未加入世帯が増えていて、書類の送付に多く費用を要しているが。

答 町広報紙の個人発送については、自治体未加入世帯が1890世帯と増えており、費用もかなり要している。

現在、ゆうメールを活用し割安料金になっているが、郵送以外の方法も検討したい。

問 防災行政無線戸別受信機を設置していない世帯がある。屋外拡声器では聞き取りにくい、対

応は。

答 転入者に対しては、戸別受信機の設置を指導している。今後も、設置について周知、指導をする。

問 スクールソーシャルワーカー派遣業務の内容は。

答 小学校に1名、中学校に1名の2名体制で、社会福祉士が各学校を巡回指導している。

先生方の相談に乗ったり、子供たちが活躍できる場づくりのアドバイスを行ったりしている。

問 近い将来、南海大地震が危惧される中、自主防災組織率の向上が必要ではないか。

答 全世帯数に対する組織率は約31%である。今後、啓発に努めると共に、防災士の資格取得に対する助成も検討したい。

問 昭和公民館の改修工事の計画はどのよう

答 利用者の不便解消のために、建築可能な範囲で、荷物用昇降機等の設置を検討している。



昭和公民館

厚生関係

問 法人成年後見事業の実績は。また、民生委員の年齢制限についての考えは。

答 成年後見事業は、町社会福祉協議会に委託し、平成26年度においては2件の実績である。

問 病後時保育の受け入れ人員の増員予定は。

答 実施基準により保育士また、看護師の確保、更には、保育スペース等の問題もあり、基本的には現状どおりの4名の定員としたい。

問 小児科医師の確保により外来患者は増加して

一般会計	
歳入	102億7095万9269円
歳出	89億6404万1713円
差引	13億691万7556円



決算審査特別委員会

26年度 一般会計と特別会計及

いるが、入院患者数が減少した主な要因は。

答 入・退院調整がうまく回らなかったことに加え、他の病院からの紹介等についても少なかつたことによるものと考える。

問 現在における病床利用率はどのような状況か。

答 現在、7割程度の病床利用率であり、院長を中心に検討チームを立ち上げ、改善の努力を行う。

問 PCBの焼却処理施設の稼動状況は。

答 当該施設は平成25年7月より稼動しており、炉で焼却することにより無害化されている。また、施設から排出される汚水についても、定期的に測定を行い問題ないことを確認している。

問 まち・ひと・しごと創生会議の中において、子育て支援策について具体的な施策の展開は。

答 創生会議の中で十分に審議を行い、住みよいまちづくりにつなげたい。

問 国保会計が非常に厳しい中ではあるが、保険料の上昇を抑制する方策についての考えは。

答 国保の制度を維持していくために、平成28年度には保険料の改定が避けられない。引き続き十分に審議すると共に、収納率の向上、更には予防事業の充実、努め保険給付費の抑制につなげる。

問 綾上診療所は、常勤の医師1名であり、医師

の負担軽減、在宅医療の充実のためにも早急に医師の増員が必要と考えるが。

答 県に対し常勤医師の派遣を要望しているが、医師不足から実現には至っていない。陶病院等からの代診医師の派遣により対応しているが、引き続き強く要望していきたい。

建設経済関係
水道事業会計

問 料金の収納率は99・97%との事だが、現在の未収金の状況は。

答 平成26年度の未収金は約19万円である。

問 毎月検針をする事の費用対効果の検証は。

答 現在、10名で検針を行っており、毎月約10数件の

漏水疑いを検針時に発見して、漏水対策に貢献をしている。

下水道事業特別会計

問 接続件数が減少している。未接続者の加入促進は。

答 接続件数の減については、昨年度の事業量の減少によるものである。779世帯の未接続世帯については、本年の5月から戸別に訪問を行っており加入促進を図る予定である。

建設課関係

問 急傾斜地崩壊防止対策事業における、2戸以上という採択要件の緩和は。

答 採択要件については現在のところ緩和の予定はない。

経済課関係

問 イノシシ等の肉の加工処理による有効活用を検討してはどうか。

答 食肉加工施設の整備



広がる遊休地

については、町単独でなく、もう少し広域的な取り組みが必要と考えている。引き続き検討したい。

問 平成26年度調査段階での遊休農地の面積は。

答 平成26年度調査において、再生可能農地が50ha、困難農地が209ha、合計で259haと、25ha増加した。高齢化及び担い手の不足から、主に中山間地域においてその傾向が強い。

町議会を見学して

綾川町立羽床小学校



熱心に傍聴している羽床小学校の生徒たち

6年 岡 おか 愛里 あいり



初めて、綾川町の議会を傍聴しに行きました。議場に入ると、議員さんたちが次々と到着していました。自分の席が決まっているんだなと思いました。

議会が始まると、議員さんたちがいろいろな質問をしていました。子どものインフルエンザ予防接種に公費助成をしてほしいとか、小学校高学年と中学校での学習指導にどう力を入れていくとか、いじめの早期発見が重要であることなど、子どもに関する話がたくさん出ていたのが印象的でした。子どものことを大事に考えてくれているのだなあと感じました。議会で議長さんが議員さんを「君」付けで呼ん

でいたのがおもしろいなと思いました。議会では、みんな真剣で迫力があって、すごかったです。私たちの他にも、傍聴している人たちがいました。みんなで綾川町のことを考えていけるのはいいなあと思いました。



6年 松原 まつばら 望 のぞみ

綾川町議会を傍聴して分かったことは、質問に対して答弁を行うとき、相手によく伝わるよう工夫して回答しているということです。スムーズに話合いが進むように、みんなで協力し合っているのだということも分かりました。議会では、竹対策のことも議題に出されていました。私は、三・四年生のときの総合的な学習で、

竹について調べたりみんなで考えたりしたことを思い出しました。議員さんの話を聞いて、私は、竹を切って燃やしてしまふのはもったいなく、環境のことについても考えないといけないと思いました。竹で小物を作ったり、竹を活用した授業をしたりすることは、とてもいい案だと思いました。話し合われていたことは、自分たちに関係があるものが多かったのです、一人ひとりが町づくりのために考えなければならぬのだと思いました。貴重な機会でした。学べてよかったです。

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは住所・氏名・年齢を記入するだけです。
次の定例会は、3月の予定です。

編集後記

● 新年おめでとうございます。

昨年は、秋篠宮両殿下ご臨席のもと盛大に開催された「主基斎田100周年記念式典」をはじめ、様々な行事が行われ例年以上の盛り上がりを見せた綾川町ですが、本年はこの綾川町が合併10周年を迎える年です。加えて、オリンピックキヤーでもありますので、益々飛躍発展の一年になるうかと思えます。

町民の皆様におかれましても、年頭にあたり新たな目標を立てられたことと思います。

皆様の目標や夢の実現出来る町づくりを目指して精一杯努力致します。

議会だよりのご愛読を本年も宜しくお願い致します。

議会広報編集特別委員会

委員長 安藤 利光
副委員長 大野 直樹
委員 三好 重徳
委員 岡田 芳正
委員 井上 博道
委員 福家 功